

【事業区間の概要】

一般国道115号は、相馬地方と県都福島市を結ぶ重要な路線であるが、相馬市落合地区や伊達市霊山町石田地区では、急カーブや狭い幅員といった隘路が続き、大雨による落石や冬期の路面凍結といった危険要因も多く抱え、広域幹線道路としての信頼性、安全性を満たしていない状況にあります。

特に阿武隈東道路と並行する区間（落合地区）では、急カーブ（R=25m、I=8.4%）や大型車両同士のすれ違いが困難となる狭い幅員、異常気象時に落石の危険性があるため通行が規制される区間（特殊通行規制区間L=11.5km）が存在し、これらを解消し、広域幹線道路としての機能強化を図り、隘路解消、安全・安心な通行の確保を図るために、平成16年度に、福島県相馬市山上～同市東玉野へと至る、延長10.7kmの阿武隈東道路として着手しました。

このたびは、阿武隈東道路の着工準備が整ったことから、**起工式**を開催することとなりました。

本バイパスが完成することにより、隘路解消、交通事故の減少等、安全・安心な通行の確保を図るとともに、広域幹線道路としての機能強化および信頼度が向上されることが期待されます。

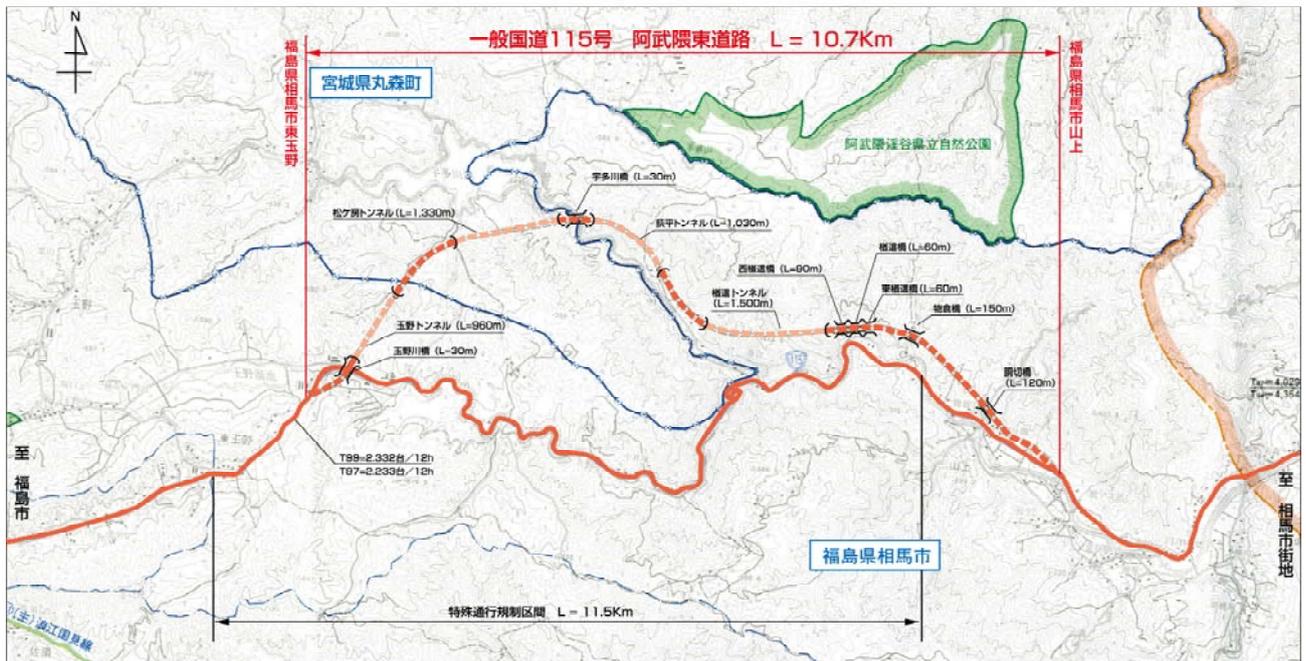
● 現道の線形不良箇所



● 落石崩壊の状況



【事業箇所平面図】



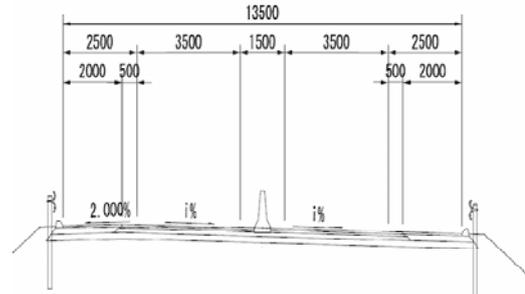
(1) 事業概要

- ・ 事業区間：福島県相馬市山上^{そうましやまがみ} ~ 福島県相馬市東玉野^{そうましひがしたまの} 地内
- ・ 延 長：10,700m
- ・ 設計速度：80km/h
- ・ 幅員構成：13.5m (2.5-3.5-1.5-3.5-2.5)

【起点側航空写真】



【標準標準断面】



(2) 事業経緯

- ・ 平成16年度 事業着手
- ・ 平成18年度 用地着手
- ・ 平成19年度 工事着手

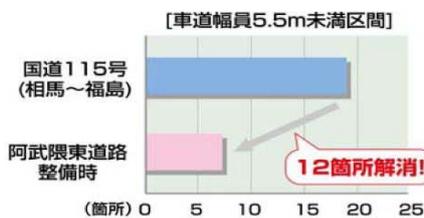
【阿武隈東道路事業の整備効果】

阿武隈東道路の整備効果

○国道115号の隘路状況



○隘路解消



○急カーブ解消



○通行規制区間

